



日鉄ソリューションズ

デジタルソリューション&コンサルティング本部

DX&イノベーションセンター (略称: DXIC)

候補者様向けご紹介資料

NS Solutions Corporation

Digital Solution & Consulting Bureau

Digital Transformation & Innovation Center

Career Information

2023年5月

目次

- ◆ DX&イノベーションセンター組織概要
- ◆ 案件事例
- ◆ 組織長メッセージ
- ◆ メンバーの声

DX&イノベーションセンター

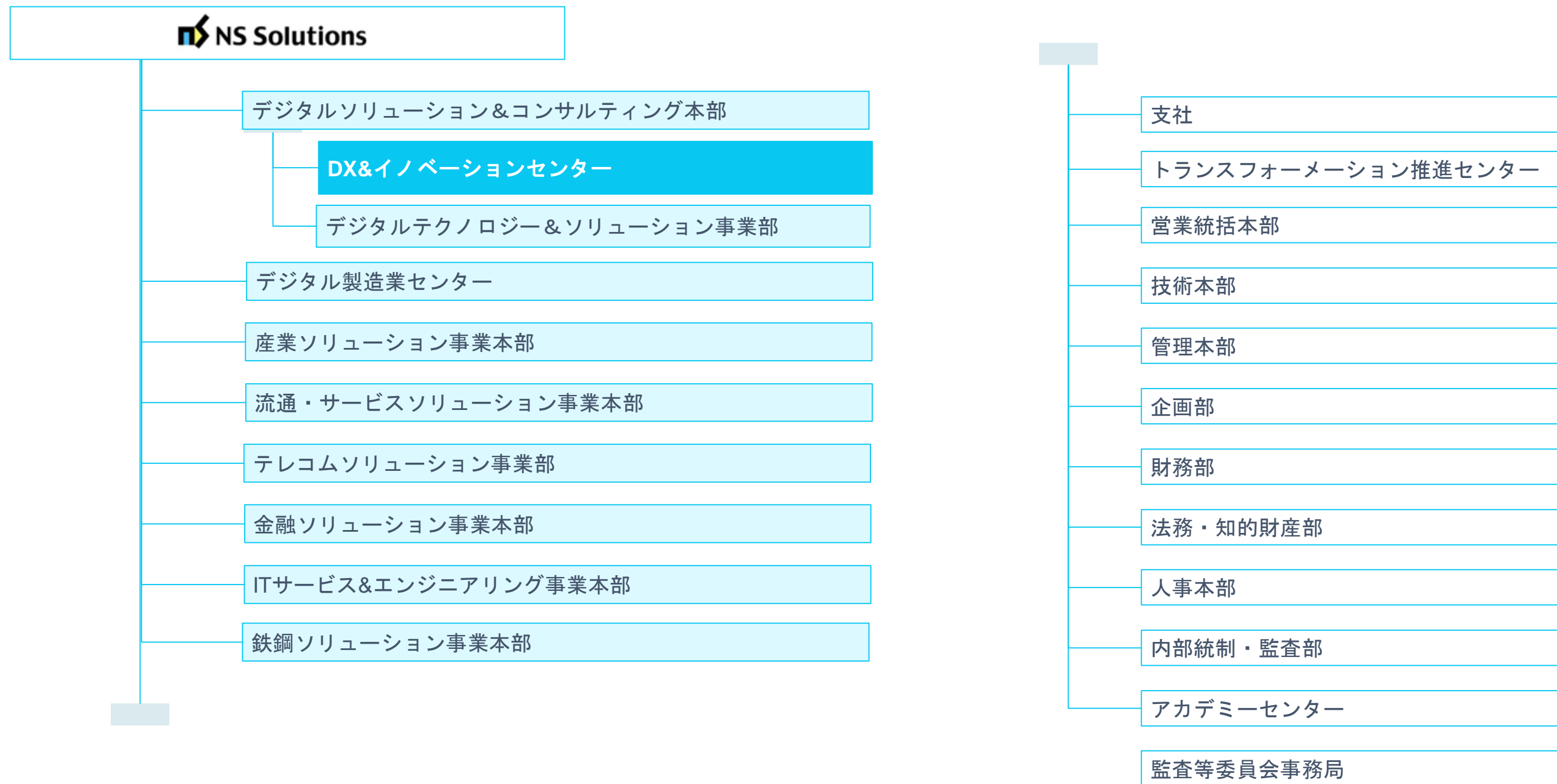
組織概要

About DXIC



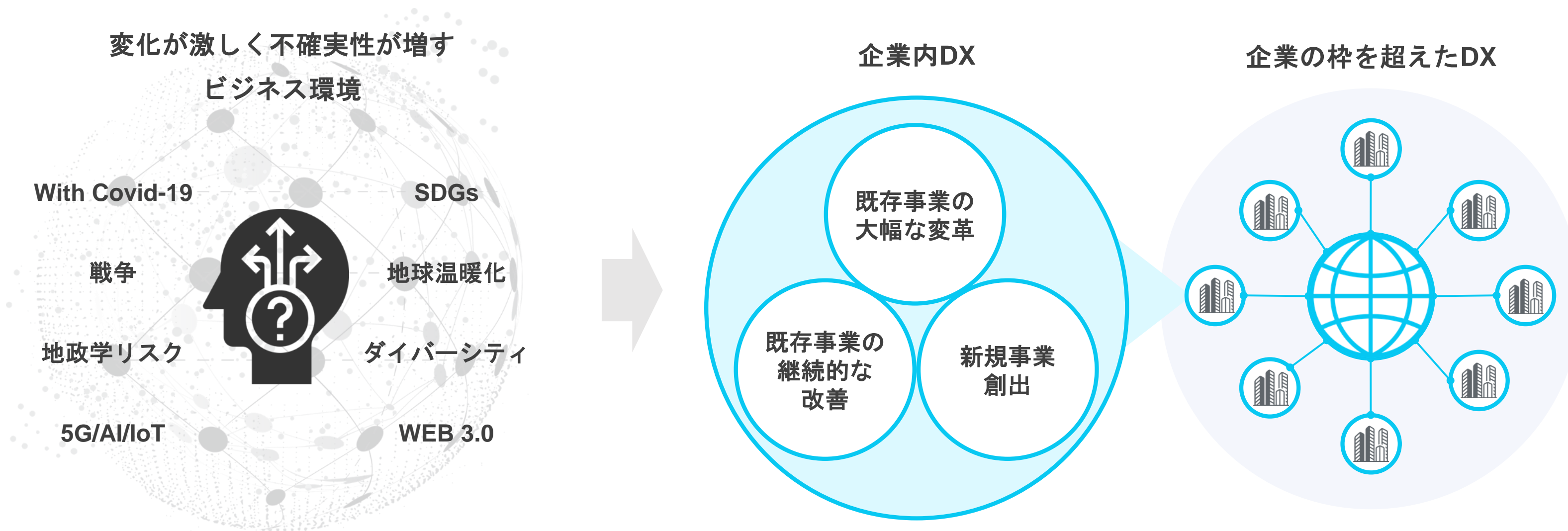
全社組織図から見る立ち位置

DX&イノベーションセンターはNSSOLにおけるCoE（センター・オブ・エクセレンス／組織横断の中核拠点）の役割を担う組織であり、各事業部門や研究所と連携し、全社レベルでDX対応力を強化するミッションを担う



設立背景

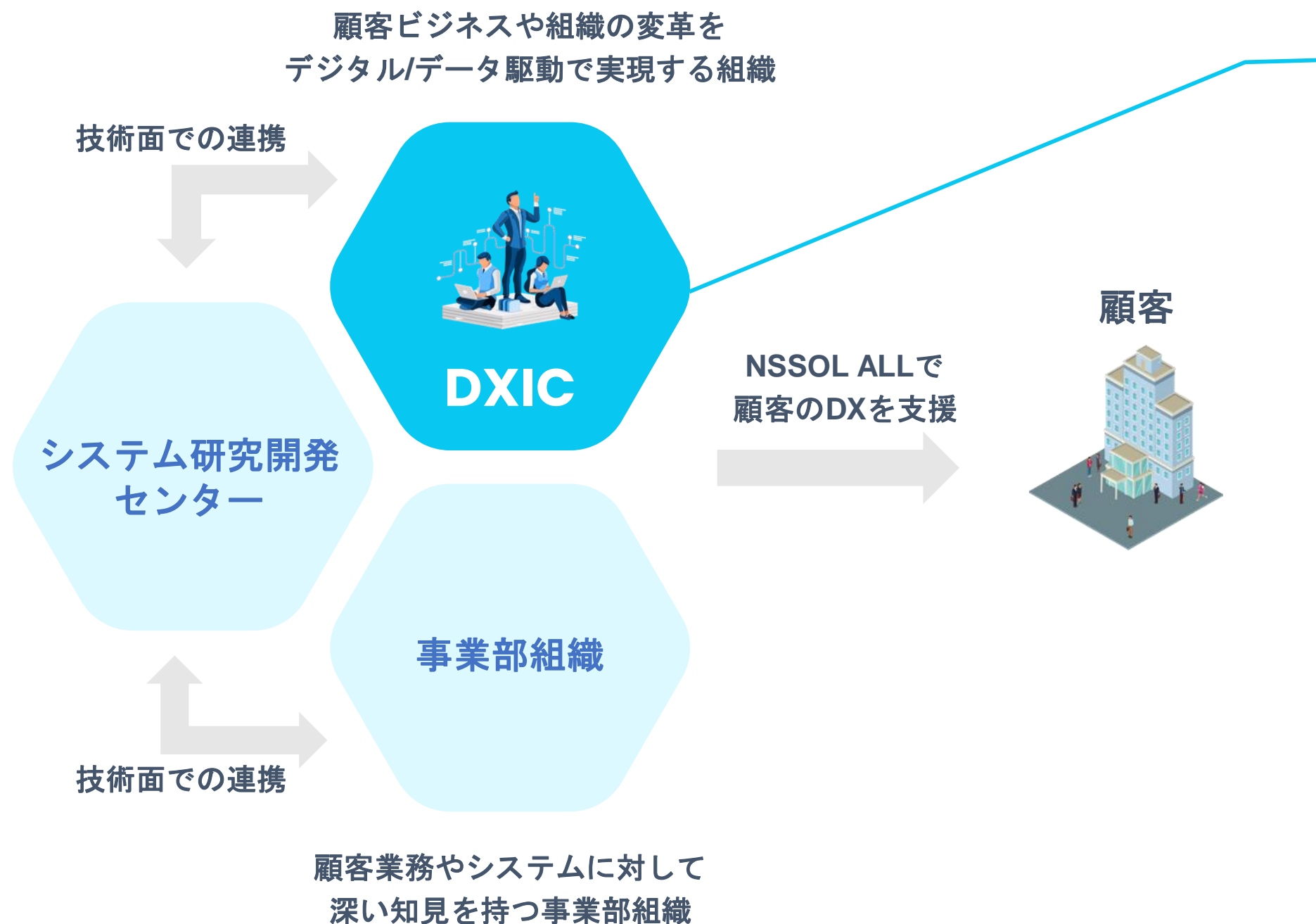
市場/競合/テクノロジーの変化が激しく不確実性が拡大するビジネス環境の中で、より専門的に顧客のDX変革を支援すべくDXICを設立



企業内外のDXを専門的に支援する組織としてのDXIC

DXICのミッションや特徴

顧客業務やシステムについての深い知見を持つ事業部組織と、先進的な技術力を持つシステム研究開発センターと協働し、デジタル/データ駆動で、先進的かつ機敏性の高い支援を行っていくことがDXICのミッション



DXIC 3つの特徴

- ✓ **顧客の業務・システムへの深い理解**
顧客の業務改革やシステム構築を支援し、同じ目線で培った経験をもとにDX改革を支援します。
- ✓ **システム研究開発センターとの連携**
先進技術の研究開発を行う「システム研究開発センター」と連携し、先進技術活用による継続的な競争優位の確立を支援。
- ✓ **DX変革に伴走し続けられる力**
システム構築部隊を内部に有することで、DX変革を机上の空論に終わらせず、実装まで伴走し続けることができます。

DXICの組織構成

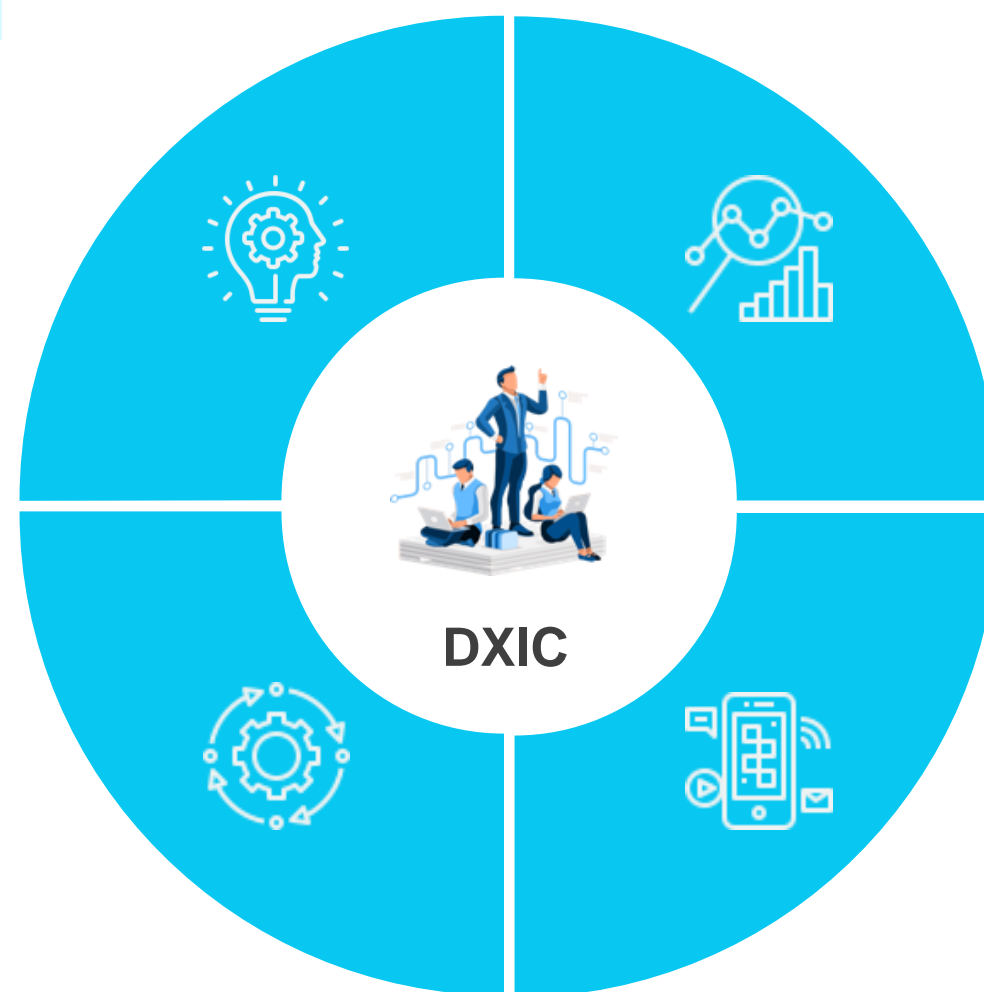
顧客競争力の源泉となるコア業務や基幹業務を主対象に、当組織にて企画・開発するソリューション・サービスを提供価値の中核として、上流コンサルティングからソリューションを提供し、顧客のDXを推進

ビジネスイノベーション&コンサルティング部

「企画・構想支援フェーズ」を中心に、顧客のビジネスイノベーションを狙いとしたDX推進を実現

アーキテクチャ&コンサルティング部

「企業全体規模を含むアーキテクチャ全般に関する企画・構想」および「アーキテクチャ設計技術の案件適用」を中心に顧客のDXを実現



データテクノロジー&コンサルティング部

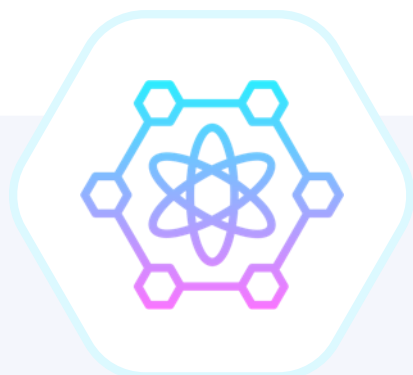
データ活用全体の企画・構想、データ活用プロセスとスキームの整備、全社的な組織能力の強化を推進

データマネジメントプラットフォーム推進部

「統合データマネジメントプラットフォーム」の整備と展開を軸としたデータマネジメント高度化で顧客ビジネスのパフォーマンス向上を実現

DXICの魅力

DXICは、従来のSlerとしての事業領域を飛び越えた業務に携わることができ、多くのプロフェッショナルと共に新しい事業に挑戦できる環境



“SlerのNSSOL”というイメージとは異なる業務に携わる

日鉄ソリューションズと聞くと、“Sler”のイメージが強いかもしれませんが、DXICは、従来のNSSOLからの変革を目指す試金石となる組織でもあります。

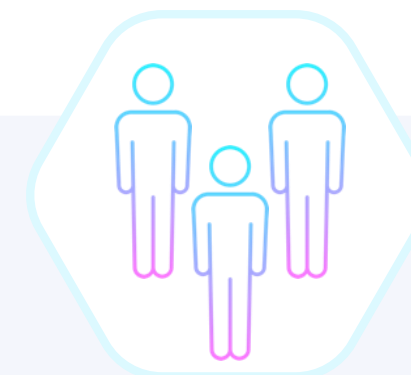
コンサルティングや顧客とのイノベーション共創のためのワークショップなど、従来の事業領域とは異なる取り組みが実践されています。



自社のソリューション開発や事業立ち上げに関わることができる

DXICでは、自社のソリューションやサービス開発にも携わることができます。1つの業界でうまくいった事例をパッケージ化して他業界に転用していくような取り組みです。

大手ならではの資本力や人材力を活かしながら、0→1の事業開発経験を積むことができます。環境です。



ビジネス・技術・コンサルティング等各領域のプロが集結

システム研究開発センターをはじめとして他事業本部のメンバーや、中途入社の方々など多様なバックグラウンドを持つメンバーで構成されています。

技術領域や業務領域に強みを持つプロフェッショナルと切磋琢磨しながら協働し、社会に価値を生み出すことができます。

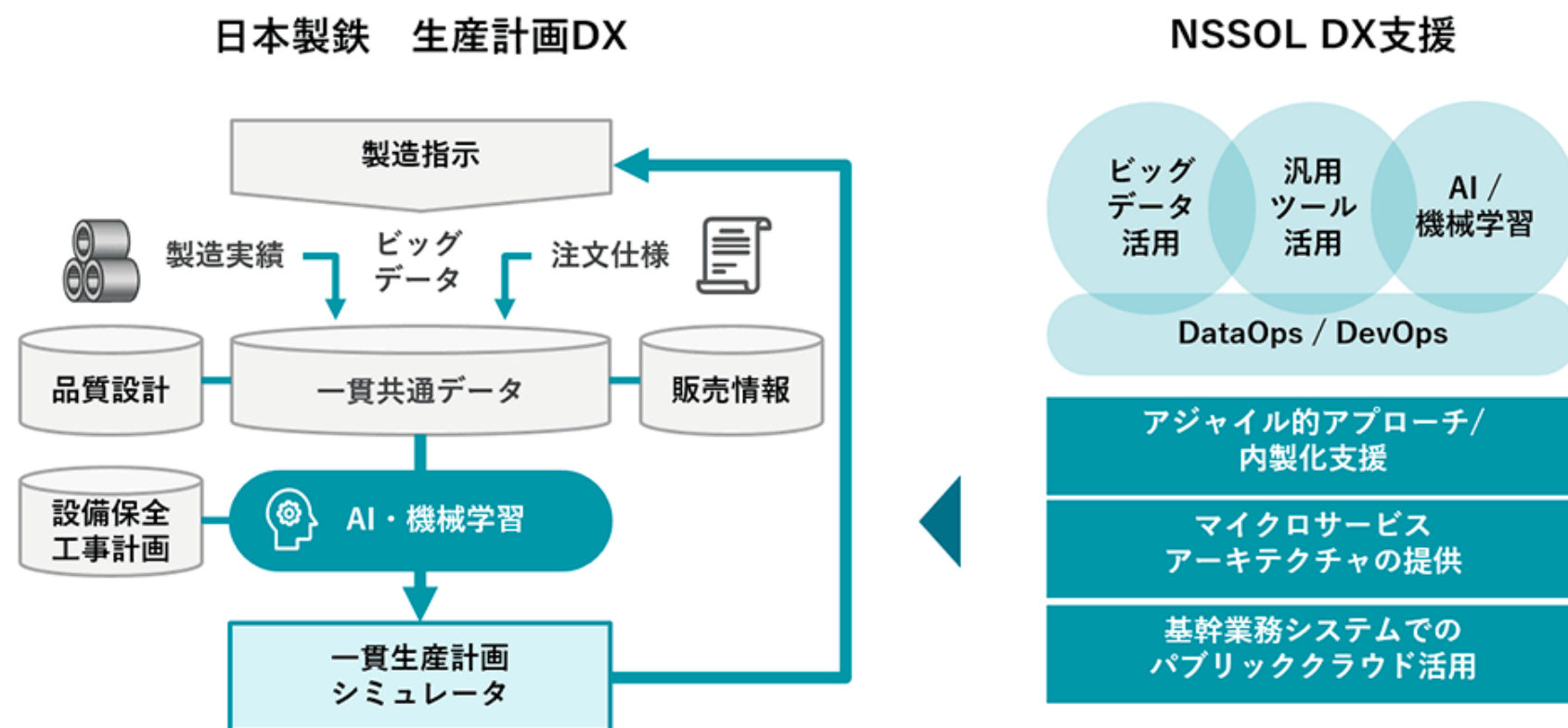
案件事例

Case Portfolio



案件事例① 日本製鉄様 × 生産計画におけるDX改革

NSSOLが持つモダンな技術と方法論に基づき、日本製鉄のDXの実現とアジリティ向上に貢献。
最新開発技術・AI技術などのデジタル技術を駆使して、生産業務サイクルの一貫最適化・効率化を実現。



引用元：弊社HPの事例紹介ページ
<https://www.nssol.nipponsteel.com/ss/dx/>

背景

少子高齢化に伴い、熟練技術者が持つ暗黙知を含むノウハウなどを伝承させていくことや、自動化や故障予兆検知などを活用した労働生産性の向上などが求められている昨今、日本製鉄はデジタルフォーメーションを積極的に推進。データやデジタル技術を駆使して、生産プロセスおよび業務プロセス改革を全面的に実行(生産計画DX)し、デジタル先進企業を目指していました。

ソリューション

各製鉄所が蓄積・保有している工程毎の製造実績や、注文仕様の詳細情報を統合した、注文～製造のデータを一元管理する統合生産計画プラットフォームを構築。また販売計画システムおよびAIや機械学習を用いることにより、フレキシブルかつ最適な供給体制を実現。熟練者頼りの計画策定をデジタル化するソリューションを提供しました。

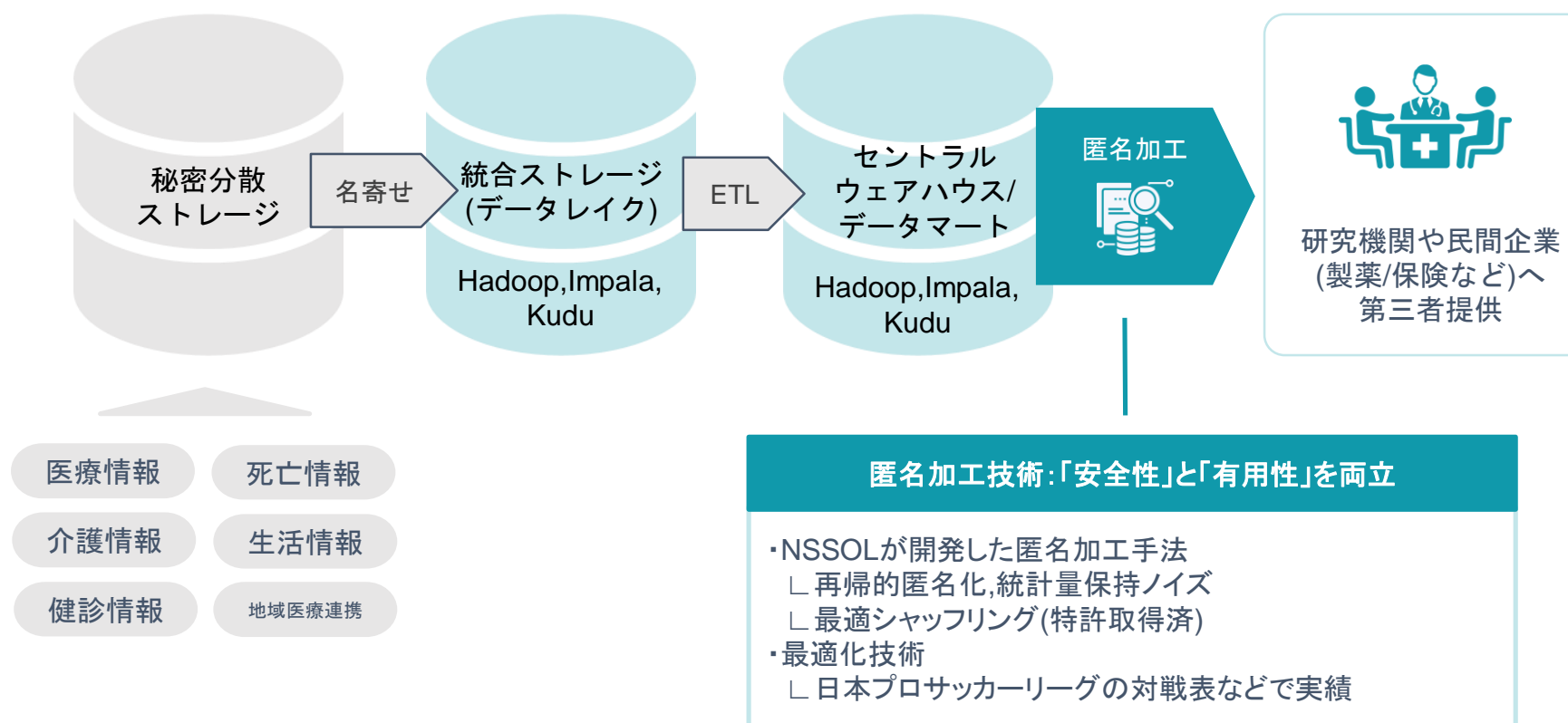
成果

生産計画DXを進めるにあたって、データ利活用・マイクロサービスアーキテクチャ・パブリッククラウド活用・アジャイル開発など、多様な最新技術や研究成果を取り込むことで、集積・連関した全社ビッグデータから、AIや機械学習を用いて、これまでにない最適化された生産計画策定を実現しました。

案件事例② 医療情報の安心安全な研究利用を目指した取り組み

医療情報の安心安全な研究利用を目指し、匿名化技術とHadoopで基盤を構築。
安全性のカギを握る匿名加工エンジンにNSSOLのソリューションを採用。

日本医師会ORCA管理機構



背景

医療情報のデータ利活用を促進するための次世代医療基盤法に基づき、医療情報を研究機関などに第三者提供するシステムの構築を検討していました。
提供データの安全性を担保する匿名加工技術と数十億件規模の大規模データベース構築技術が必要とされました。

ソリューション

複数社を比較した結果、技術やノウハウを持つNSSOLを選定。決め手は、既にパッケージを有する他社と異なりNSSOLはゼロからの開発となるため、柔軟な機能実装が期待できたことと、大規模データ処理の要となる分散処理技術に精通していたことの2つ。**Hadoopベースの大規模データベースを構築し、安全性と高い有用性を確保できる匿名加工ソリューションを開発しました。**

成果

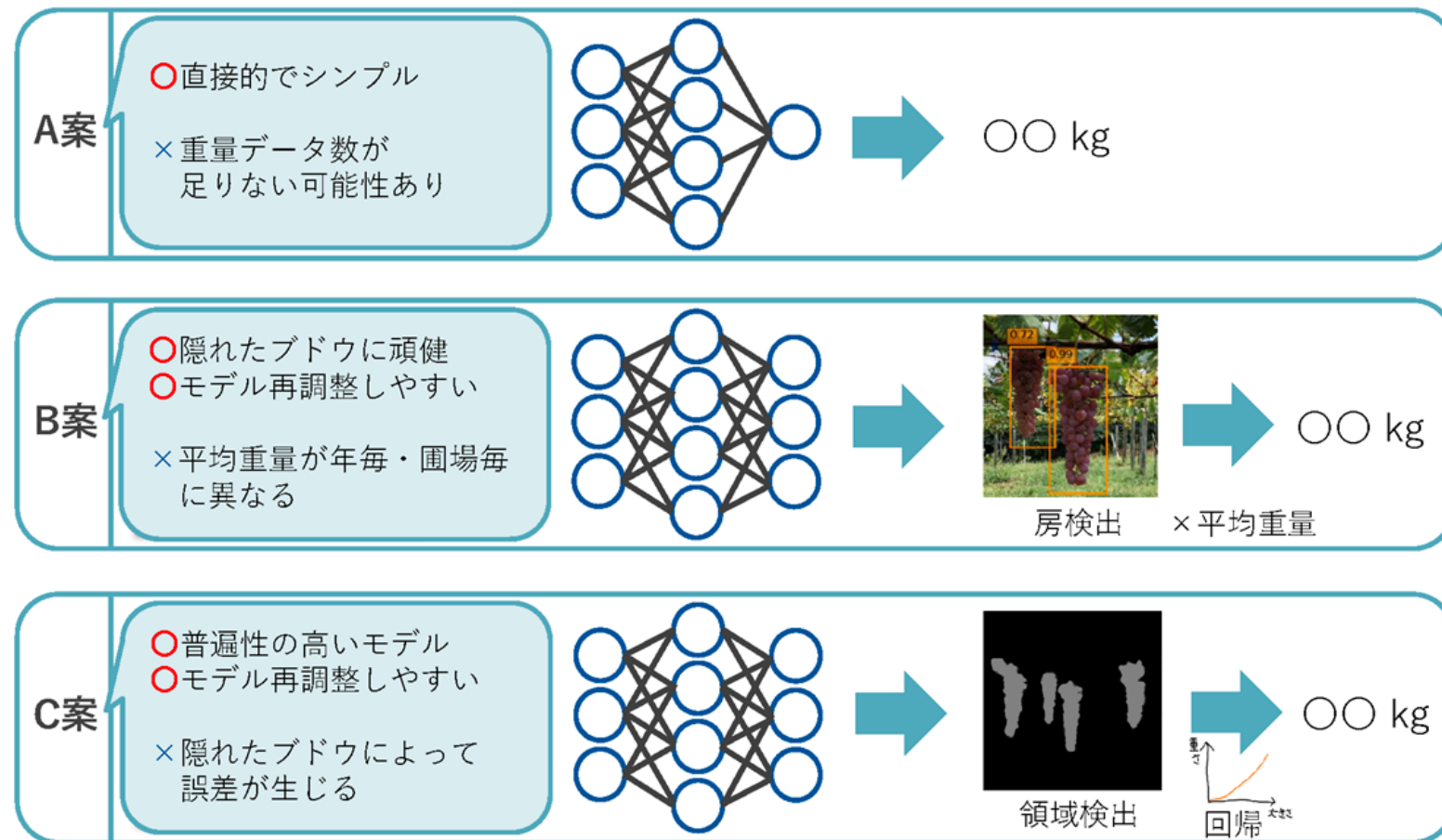
利活用が進んでいなかった健診情報・電子カルテ情報・介護情報等について、安全に匿名加工した上で、研究所・自治体・製薬会社等に提供する基盤が整備されました。**匿名加工医療情報の利活用により、臨床研究を中心とする医療分野の研究開発の進展が期待されています。**

引用元：弊社HPの事例紹介ページ
<https://www.nssol.nipponsteel.com/casestudy/2849.html>

案件事例③ サントリーワインインターナショナル様 国産ワインづくりにおけるAI活用

サントリーワインインターナショナル様と協働し、ぶどう収穫量を予測するためのAI予測モデルを作成。
高い予測精度を支える分析エンジン開発を通じて、国産ワインづくりに貢献。

収穫量予測の3パターン。本プロジェクトではC案を採用した。



引用元：弊社HPの事例紹介ページ
<https://www.nssol.nipponsteel.com/future/stories/ai-wine.html>

背景

日本産ワイン人気が加速する中で、国内産ぶどうの生産量を安定確保する必要がありました。安定確保のためには、収穫量を正確に予測し、収穫計画の精度を向上させることがカギになりますが、**収穫量の正確な予測は熟練農家でも難しく、ぶどう農園経営における長年の課題でした。**人手不足が深刻化している昨今では人力での解決も困難であるため、AI技術の検証をスタート。

ソリューション

既に農業分野でAI画像解析で栽培量を判断するプロジェクトを手掛けていた経験を、**ぶどうの収穫量予測に転用。**取得した約800枚の画像を使って学習と評価を繰り返し、房の大きさを推定するモデルを構築。並行して、収穫した房の大きさと重量のデータも活用して、重量の予測モデルを作成しました。

成果

予測値と実測値の誤差を目標範囲に収めることに成功し、AIを使った予測の妥当性を実証することができた。予測手法の汎用性検証の一環として、他農場でも同様に収穫量を予測しました。栽培法が違うぶどう畑ですが、同じくマイナス17%という結果が得られています。

組織長メッセージ

Our Vision



DXIC所長メッセージ 転職を検討されている皆様へ



DXIC所長 當田 修之

2005年に新日鉄ソリューションズ（現日鉄ソリューションズ）に入社。流通・サービスソリューション事業本部および産業ソリューション事業本部にてSCM領域のSE・PMを経て、米国留学。帰国後、ソリューション企画・コンサルティングセンター（現DXIC）にてITコンサルティンググループを立上げ。ビジネスイノベーション&コンサルティング部長を経て、2023年より現職。

変化をしようとしているタイミングだからこそ、中途入社の方には、我々にはない視点や意見を期待しています。

既存の枠組みにとらわれず、変革の意欲を持つ方を歓迎します。

DXICの中では社内外の各種情報が極めてオープンな状態にあり、新卒・中途・年次・職位などの肩書きに関係なくディスカッションがなされるフラットな風土があります。だからこそ、NSSOLに入社した時、DXICの運営や仕事の仕方に対して、“こうあるべきだ”とか“もっとこう変化した方がよい”というような感覚を覚えたら、積極的にそれを発言してほしいと思っています。

その意見を軸に自分たちを変革し、社内の事業部門・研究チーム・営業、社外リソースなど多様な関係者を巻き込んで、顧客・社会の変革を実現していきましょう。我々はその環境を用意することができます。

自分の得意領域を持って、チームでビジネスを作り出す仕事です。

他社様だとDX組織を出島として別会社などに切り離していることもありますが、NSSOLは事業部門と同列、自社内に内包しています。事業部門こそが顧客の業務やシステム、マーケットに精通しているからです。その事業部門と、我々はDXの専門性を持ってタッグを組んで、顧客の変革をリード・伴走していきます。さらには、自社のソリューション開発・企画の役割も担います。

だからこそ、DXICのメンバーは、自分達の得意領域でビジネスやソリューションの創出、グロースをリードする気概を持つ必要があり、そういった気概を持つ方々と是非一緒に働きたいと考えております。

メンバーの声

Our Team



メンバーの声 新卒入社 R.T SEからコンサルタントに転身して感じたやりがい



R.T

新卒でNSSOLに入社。製造業系顧客に向けたシステム構築の経験を経て、希望を出してDXICの前身組織へ異動。コンサルティングと、その活動通じて得た顧客課題と解決策を汎化しソリューションの企画を行う。

多様な領域に専門性を持った仲間と切磋琢磨しながら、一人の力では成し得ない成果を挙げる仕事です。

周囲のサポートがあったからこそコンサルタントへの転身に成功

私は自分で希望してコンサルタント職に異動しました。コンサルタントは初めての経験であり、当初は仕事の違いに苦労しましたが、その時にマンツーマンで指導をしてくれた上司がいて、頭の使い方から仕事の進め方までを丁寧にサポートしてくれました。コンサルタントへの転身は勇気がいると思いますが、中途の方でも垣根なくサポートする風土が根付いていますので、臆せずチャレンジしていただきたいと思っています。

コンサルティングとソリューション企画の両方を経験できる環境

顧客の課題解決を上流から行うコンサルティングの仕事と並行して、プロジェクトで得られた知見をソリューション化して仮説検証していくことにも携わることができます。私の場合は、1年でならずと50:50くらいの比率で各々の業務をこなしています。自分の知見がそのまま活きるのだから刺激的な業務です。他社様だと業務区分が固まっていることも多いかと思いますが、NSSOLならではの仕事だと感じています。

メンバーの声 中途入社 Y.S データエンジニアにとっての業務環境の良さ



Y.S

前職は監査法人にてデータ分析業務に従事。データ/BI領域の知見を高めつつも働き方を改善したいという意向でNSSOLに入社を決意。DXICでは、データ分析案件の実行支援やソリューション企画に携わる。

大きい裁量権・専門知識を持つ同僚・良好な顧客関係など、技術者として成長できる環境が整っています。

裁量権が大きい分、技術者としての知見を磨ける環境です

DXICでは、顧客向けの支援業務と並行してNSSOL自社のソリューション企画業務も担っています。自らやるべきことを考えて自分の裁量で実行できるため、技術者としての知見が溜まっていく・広がっていくことを日々感じられます。助けを借りたい時には、上司が社内での有識者と気軽に繋げてくれるなど協力体制も整っていますし、大手企業ならではの資金力もあるので、技術者としてはこの上ない業務環境です。

地に足がついたデータ活用を支援できることがNSSOLの強さ

私が転職した当時は、世の中には”データサイエンティスト”や”ビッグデータ”などの言葉が流行っていて、データ分析することやAIを活用すること自体が目的化してしまうことが多く見受けられました。NSSOLは顧客の業務やシステムに精通している分、現行業務で実際に活用されるような支援をしている印象があります。だからこそ顧客の信頼感を日々感じることができ、顧客と協働できている感覚があります。

メンバーの声 新卒入社 N.E NSSOLで経験できるサービスデザインの仕事



N.E

新卒でNSSOLに入社。多様な業界の顧客に対して、サービスデザイン、アジャイル開発のコンサルティング、開発の実行を行う。HCD-Net認定:人間中心設計専門家、Certified Scrum Masterなどの資格を保有する。

顧客業務に精通し実装力があるNSSOLだからこそ、デザインが世の中に立つという実感が得られます。

世の中の負を変え、リデザインできることに大きなやりがいがあります

NSSOLならではの仕事として、業界への影響度が大きいエンタープライズシステムのリデザインができます。例えば、大企業の勤怠・工数管理システムの改革の際には、そもそも入力自体が面倒臭いシステムを、どのようにモチベーション高く入力できるか、ということ突き詰めて考えていきました。業務やシステムの中に“人”が組み込まれていないことが多く、日本の生産性の低下に繋がっていると思います。そういった負を解決するためにデザインの力が必要であると強く実感できます。

実装力を持つNSSOLだからこそ、デザインによる変革を最後まで支援できる

顧客からはNSSOLの実装力の高さについて褒めていただくことが多いのですが、全体的なデザインのみならず、実装フェーズを経て実際に顧客に価値貢献できた際には、とてもやりがいを覚えます。もちろん顧客も自分達も大企業なので、色んな制約があることは事実です。全てが自分の意のままに進められるような仕事の進め方ではないのですが、顧客をはじめ研究所メンバーや事業部メンバーを巻き込み、大きな事を為したい方にとっては最適な環境と感じています。

メンバーの声 中途入社 Y.S 元コンサル経験者からみるNSSOLの特徴



Y.S

途中でNSSOLに入社。事業会社・コンサルティングファームの戦略部門などを経て現職。DXICではイノベーションコーディネーターとして、社内外の新規事業の立ち上げの支援を行っている。

優秀で信頼できる仲間と0→1フェーズの業務に携わることができる、とてもやりがいのある環境です。

悩みに対して、真摯に良質のコメントをくれる仲間に出会っています

入社して驚いたことは、コンサルティングの仕事でも決して個人主義ではなく、困っている人がいたら真摯に向き合う文化があることでした。自分の仮説や意見に対してきちんとアドバイスをいただけて、顧客のための良質なアウトプットができるようサポートしてくれます。自身の専門性を磨きつつ、仲間と切磋琢磨しながら顧客や社会へ貢献をしていきたいという方にはとてもおすすめの環境です。

Slerのイメージとは全く異なり、DXICは0→1を経験できる環境です

NSSOLと聞くとSlerのイメージがあり、私も実際に選考に進む前まではそういったイメージでした。しかし面接を経て業務について聞けば聞くほどそのイメージが覆されました。イノベーション共創の仕事は、ゼロベースで仮説を作って形にし実行する仕事です。コンサルやSIの仕事だと既にあるものの改善が主たる業務になりますが、DXICでは真の0→1フェーズを経験できます。大手企業で経験できるのは大変貴重なことです。

皆様のご応募を
お待ちしております！



NS Solutions

NSSOL、NS Solutions、NS（ロゴ）は
日鉄ソリューションズ株式会社の登録商標です。

その他本文記載の会社名及び製品名は、
それぞれ各社の商標又は登録商標です。